

平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

【調査対象】

平成27年度 帯広市立南町中学校 第2学年

【実施日】

平成27年5月

【結果と考察】

1 体格調査〈資料1〉

○男女とも身長は全国・北海道の平均とほぼ同じ。体重は、男女ともに「やせ型」の割合が多い。特に女子の「やせ型」が多い傾向にある。

2 1週間の総運動時間〈資料2〉

○男子はほぼ全員が運動をしており、運動時間も長い。
○女子は運動時間は長いですが、運動していない生徒も多い傾向にある。

3 体力調査〈資料3〉

○男子はほぼすべての種目において全国、北海道平均を上回っている。総合評価でA評価がついた生徒は全国平均の約2倍、北海道平均の3倍以上である。特に、「20mシャトルラン（全身持久力）」「50m走（スピード）」「立ち幅跳び（瞬発力）」の種目が高い数値を示している。
○女子は、「20mシャトルラン（全身持久力）」「50m走（スピード）」の種目が高い数値を示している。他は、ほぼ北海道平均並みの結果となった。

【南町中学校の特徴】

- 運動が「大切」であり「好き」と答えた生徒が8～9割と非常に多く、オリンピック・パラリンピックで「試合を見に行きたい」を考えている生徒は6割を超えている。
- 「健康」のために「運動・食事・睡眠」が大切であると認識している生徒が9割を超えている。特に、朝食・夕食をしっかりと食べている生徒が全国・北海道の平均より多い。特に男子の朝食を食べている生徒の割合は9割を超えている。
- 保健体育授業を「楽しい・やや楽しい」と回答した生徒は9割を超えている。授業において、「技や動きができるようになる」「たくさん動く」「決まりを守ることは大切である」「学んだことを授業以外でも行ってみたい」「仲間と協力して課題を解決することがある」「練習やゲームで自ら工夫できる」と考える生徒が大半を占めている。「授業中、先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「先生や友達のまねをしてみた」「友達に教えてもらった」と回答した生徒も多く、先生方の日頃からの指導が活かされているとが考察される。
- 1週間の運動時間が多い要因に部活動がある。全国、北海道の平均を大きく上回る種目がいくつもあるのは、先生方の熱心な指導の成果が大きいと考えられる。
- 今後も体育の授業を中心に、体力の向上のための運動を検討していくことが必要である。
- 生徒の「安全面に留意する」意識が低い傾向にあるので、各指導に今まで以上に取り入れていく必要がある。